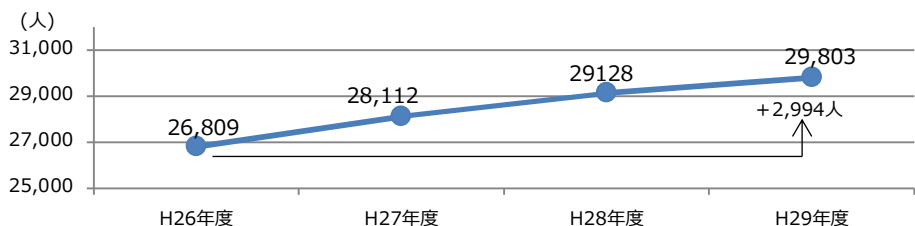


高齢化の進展等を背景に介護・看護関係の求人ニーズは拡大しており、慢性的な人材不足が続いています。

厚生労働省では、11月11日を「介護の日」と定め、その前後2週間を「福祉人材確保重点実施期間」としています。福島労働局では、11月に県内各ハローワークで「介護就職デイ」と称した就職面接会等を実施することから、昨今の労働市場における介護・看護関係職種の求人・求職の動きを取りまとめました。

## I 介護関係

### 1 県内の介護職員数の推移



(資料出所) 厚生労働省「介護サービス施設・事業所調査」

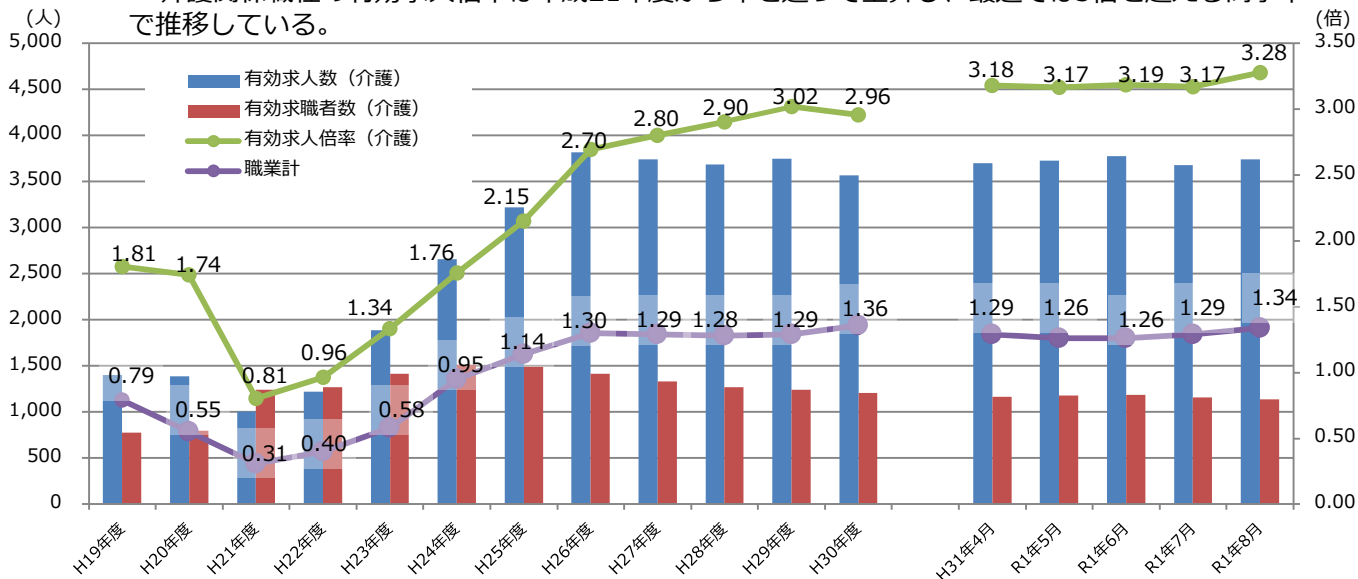
※ 居宅サービス事業所、地域密着型サービス事業所、居宅介護支援事業所及び介護保険施設等を調査対象としている。

※ 調査票回収率等を踏まえた補正を厚生労働省社会・援護局にて実施している。

※ 通所リハビリテーションに従事する介護職員を含まない。

### 2 介護関係職種の有効求人倍率の推移

介護関係職種の有効求人倍率は平成21年度から年を追って上昇し、最近では3倍を超える高水準で推移している。

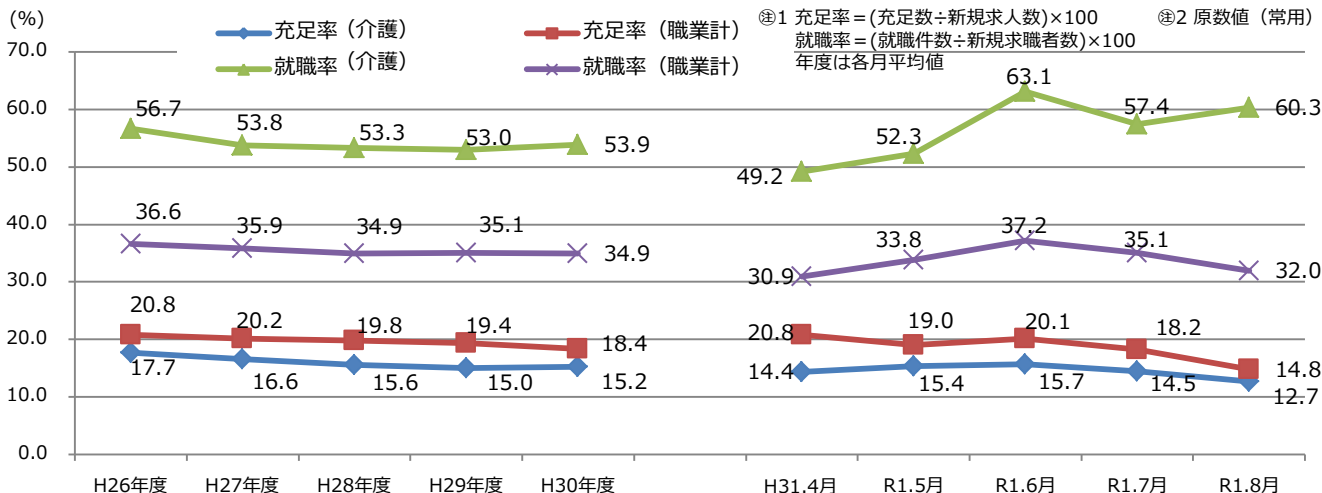


① 年度(平均値)、各月とも原数値(常用：雇用期間の定めなし。又は、4カ月以上の雇用期間を有するもの。)

2 介護関係職種とは、「福祉施設指導専門員」、「介護支援専門員」、「家政婦(夫)」及び「施設・訪問介護員」をいう。

### 3 介護関係職種の充足率及び就職率の推移

介護関係職種の充足率は、全体の職業(職業計)を下回る水準で推移する一方、就職率は全体の職業を大きく上回り推移している。



① 充足率 = (充足数 ÷ 新規求人数) × 100  
就職率 = (就職件数 ÷ 新規求職者数) × 100  
年度は各月平均値

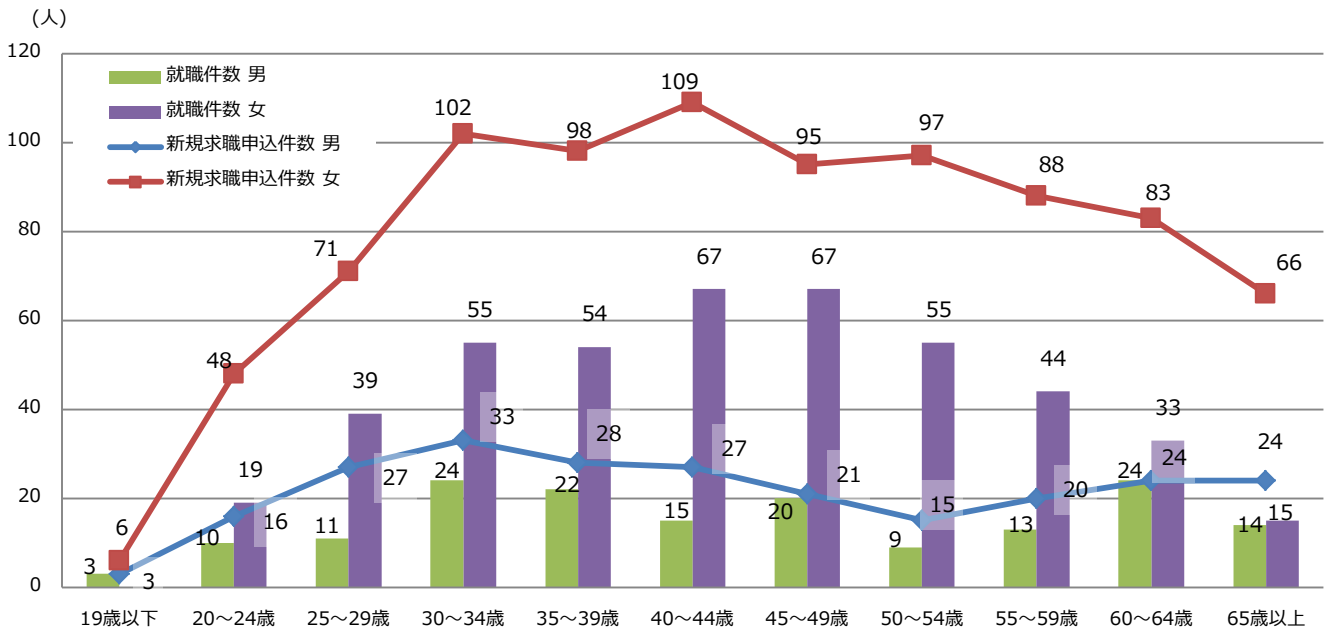
② 原数値(常用)

#### 4 介護関係職種の年齢別新規求職申込件数・就職件数の状況（令和元年度・第一四半期）

新規求職申込件数は、40代の女性が最も多く、次いで、30代の女性となっている。

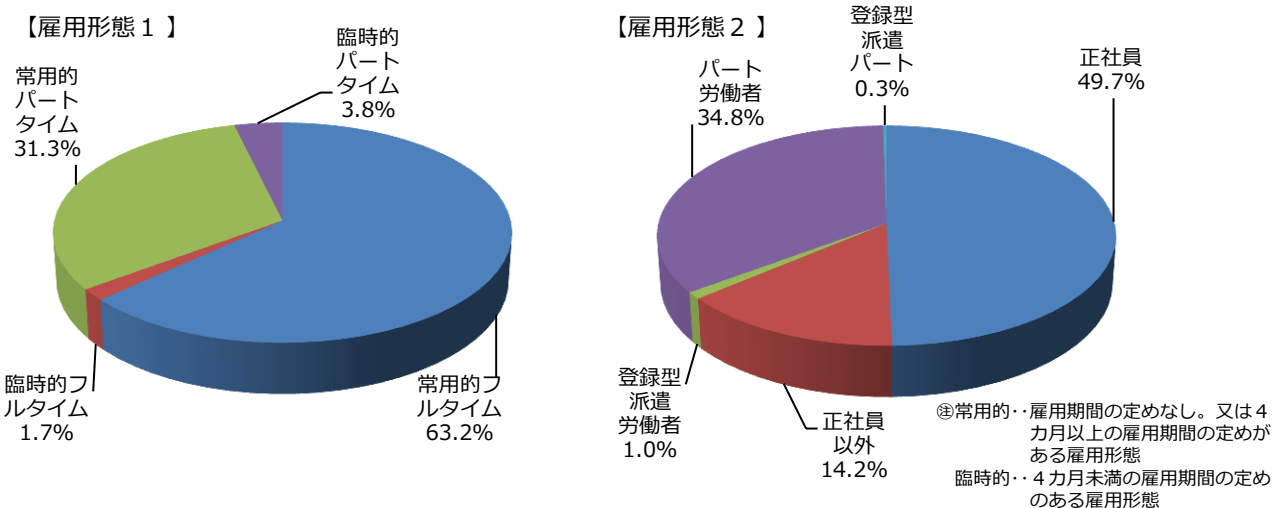
就職件数においても、40代、30代の女性が最も多い状況になっている。

なお、新規求職申込件数の男女割合は、男21.6%、女78.4%であり、就職件数の男女割合は、男26.9%、女73.1%となっている。



#### 5 介護関係職種の雇用形態別新規求人数の状況（令和元年度・第一四半期）

新規求人数の内訳を雇用形態別の割合で見ると、【雇用形態1】フルタイムが64.9%、パートタイムが35.1%【雇用形態2】正社員が49.7%、正社員以外（派遣労働者、パートタイムを含む。）が50.3%となっている。なお、全ての職業でみた場合、フルタイムが70.3%、パートタイムが29.7%正社員が51.3%、正社員以外が48.7%となっている。



#### 6 介護関係職種の求人賃金・求職希望賃金の状況（令和元年8月）

求人票に記載された賃金（月給）の「求人上限額の平均」、「求人下限額の平均」及び「求職希望賃金の平均」をみると、介護関係の各職業において、求職者が希望する賃金額の平均が「求人下限額の平均」をいずれも上回っている。

※10円未満四捨五入

職業（月給）	求人上限額の平均	求人下限額の平均	求職希望賃金の平均
職業計（全ての職業）	239,290	181,510	187,720
福祉施設指導専門員	217,780	171,000	177,810
介護支援専門員等	242,880	193,450	204,440
施設・訪問介護員	197,610	162,290	170,380

## 7 求職者の動向（令和元年9月）

9月の新規求職者について、介護関係職種に関する動きは次のとおりとなっている。

### (1) 介護関係職種への就職を希望する者（第一希望：277人）の求職状況

■ 前職で他の職業（介護以外）に就いていた者	134人（48.4%）
■ 前職で介護関係職種に就いていた者	143人（51.6%）

#### ア 性別

男：56人（20.2%） 女：221人（79.8%）

#### イ 年齢

～19歳：3人（1.1%） 20～29歳：39人（14.1%）  
30～39歳：64人（23.1%） 40～49歳：68人（24.5%）  
50～59歳：62人（22.4%） 60～69歳：38人（13.7%）  
70～79歳：3人（1.1%）

#### ウ 希望就業形態

フルタイム：194人（70.0%） パートタイム：83人（30.0%）

#### エ 正社員雇用の希望

あり：180人（65.0%） なし：94人（33.9%） 不明：3人（1.1%）

#### オ 所持資格等（複数所持者の重複かつあり） カ 前職（現在）の職業

・介護福祉士	76人	・看護師	2人（0.7%）
・ホームヘルパー2級	72人	・福祉施設指導専門員等	13人（4.7%）
・介護職員初任者研修修了者	41人	・事務関係	21人（7.6%）
・介護支援専門員	8人	・販売、営業	20人（7.2%）
・ホームヘルパー1級	4人	・介護職	143人（51.6%）
・介護職員実務者研修修了者	4人	・調理、接客	17人（6.1%）
・准看護師	4人	・生産工程等	23人（8.3%）
・社会福祉士	2人	・運搬、清掃、包装	15人（5.4%）
・介護関係の資格なし	98人	・その他、不明	23人（8.3%）

### (2) 前職で介護関係職種に就いていた者（251人（在職中を含む））の求職状況

■ 転職後も介護関係職種を希望	123人（49.0%）
■ 介護以外を希望	128人（51.0%）

### (3) 介護関係資格所持者（464人）の求職状況

■ 前職（在職中を含む）で介護関係職種に就いていた者	216人（46.6%）
■ 介護関係職種への就職を希望（第一希望）する者	153人（33.0%）

#### ア 性別

男：96人（20.7%） 女：368人（79.3%）

#### イ 年齢

～19歳：2人（0.4%） 20～29歳：48人（10.3%）  
30～39歳：121人（26.1%） 40～49歳：102人（22.0%）  
50～59歳：104人（22.4%） 60～69歳：82人（17.7%）  
70～79歳：5人（1.1%）

#### ウ 所持資格（複数所持者の重複かつあり）

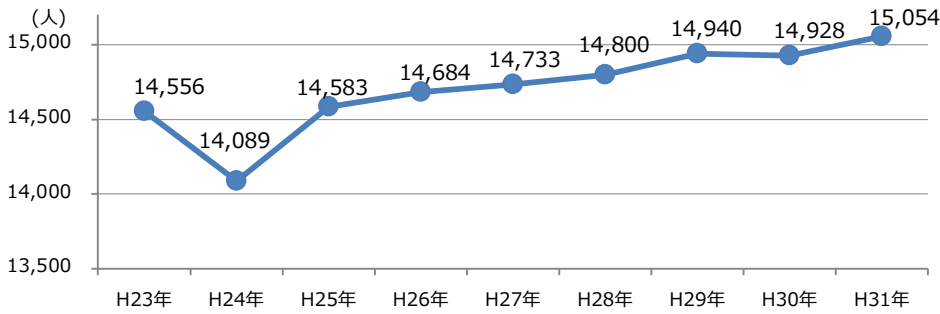
・ホームヘルパー2級 230人  
・介護福祉士 145人  
・介護職員初任者研修修了者 100人  
・介護支援専門員 42人  
・ホームヘルパー1級 13人  
・社会福祉士 13人  
・看護師、准看護師 19人

#### エ 希望する職業

・介護職 153人（33.0%）  
・事務職 84人（18.1%）  
・製造関係 29人（6.3%）  
・軽作業 29人（6.3%）  
・販売関係 25人（5.4%）  
・看護関係 17人（3.7%）  
・社会福祉関係 17人（3.7%）  
・清掃等 16人（3.4%）  
・その他 94人（20.3%）

## II 看護関係

### 1 県内病院に勤務する看護職員数の推移



(資料出所) 福島県「就業状況調査」

※ 県内の病院に勤める看護職員（保健師、助産師、看護師、准看護師）数である。

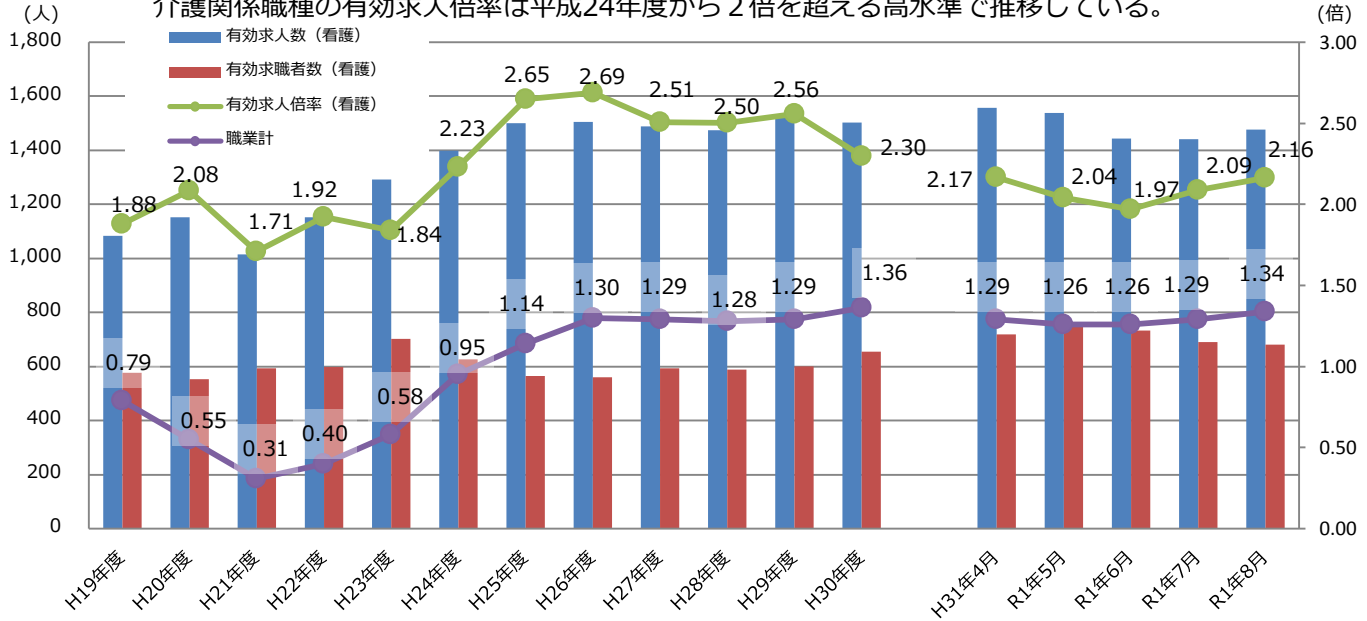
（但し、病床数20床以上の入院施設を有する医療施設）

※ 休業中の病院を含めた数である。

※ 平成23年、24年は3月1日、平成25年から平成31年までは、4月1日を調査の基準日としている。

### 2 看護関係職種の有効求人倍率の推移

介護関係職種の有効求人倍率は平成24年度から2倍を超える高水準で推移している。

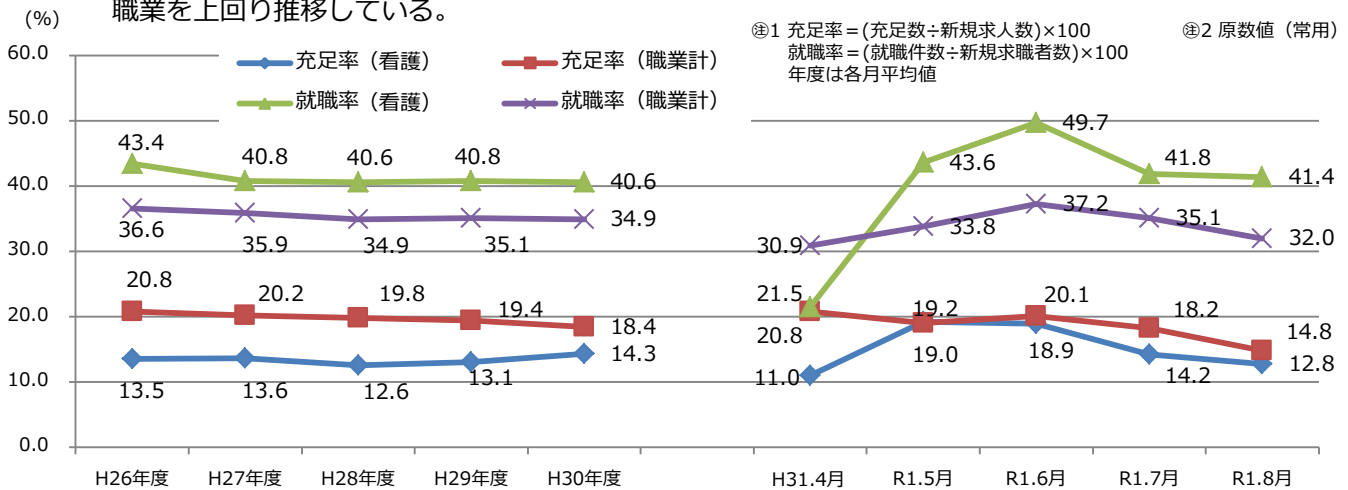


① 1 年度(平均値)、各月とも原数値(常用：雇用期間の定めなし。又は、4カ月以上の雇用期間を有するもの。)

2 看護関係職種とは、「保健師」、「助産師」、「看護師」及び「准看護師」をいう。

### 3 看護関係職種の充足率及び就職率の推移

看護関係職種の充足率は、全体の職業(職業計)を下回る水準で推移する一方、就職率は全体の職業を上回り推移している。



① 充足率 = (充足数 ÷ 新規求人数) × 100

就職率 = (就職件数 ÷ 新規求職者数) × 100

年度は各月平均値

② 原数値(常用)

#### 【介護・看護関係人材の確保対策】

福祉分野(介護・看護等)をはじめとした人材不足分野(建設・警備・運輸)のマッチング支援を強化するため、「人材確保対策コーナー」を県内3箇所(川ワーク福島・いわき・郡山)に設置し、担当者制によるきめ細やかな職業相談や就職面接会等の開催などを関係団体等と連携して実施している。(上記以外の川ワークにおいても、人手不足分野の職業紹介を強化している。)